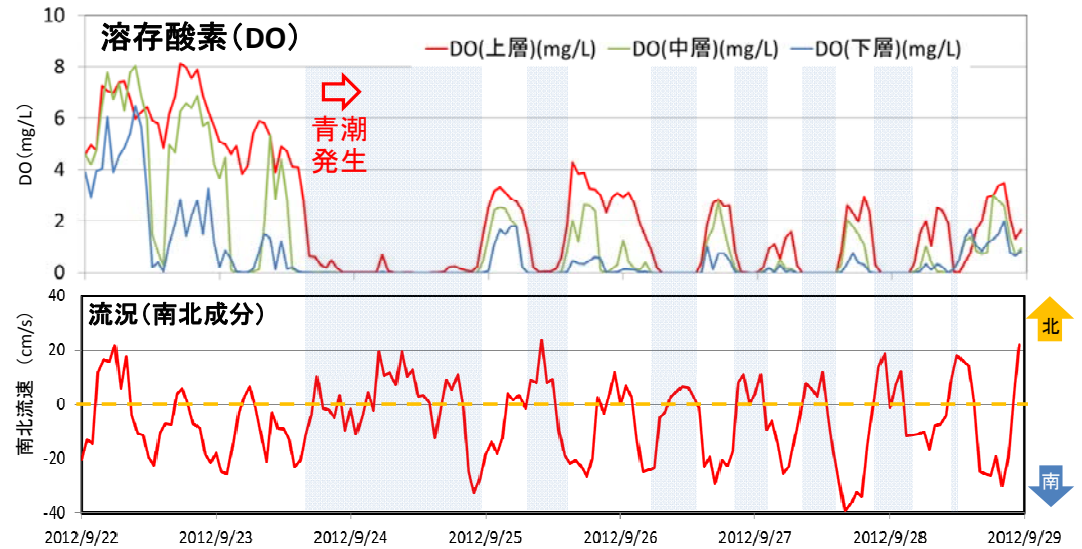


2012年9月に北よりの風が8日間にわたって連吹し、大規模な青潮が発生した。このときの海上保安庁と国土交通省関東地方整備局が設置した連続観測装置のデータを用いて、貧酸素水塊の挙動を解析した。

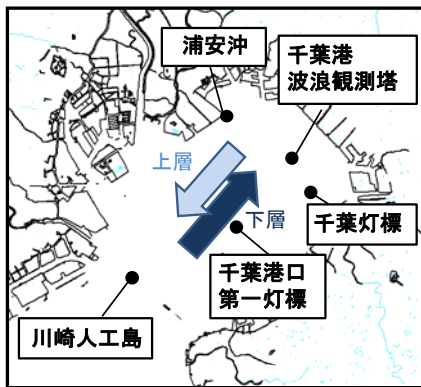


浦安沖の連続観測点データ



- ・下げ潮時にDOがある程度回復する時間帯もみられた
- ・青潮が発生して6日目には、貧酸素水塊が解消しつつある

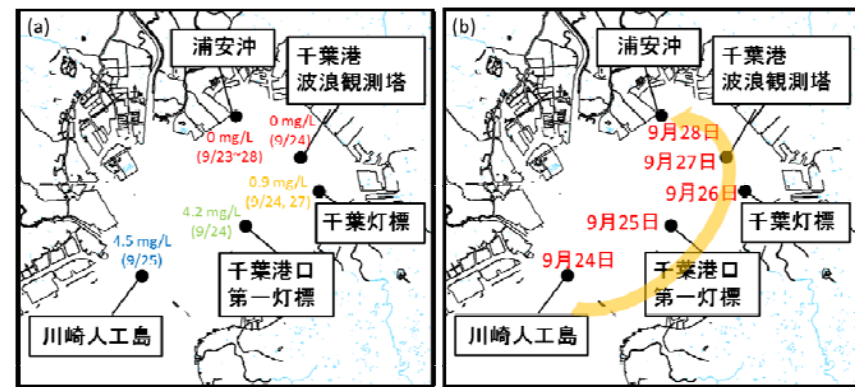
青潮時の東京湾北部の流れ



層	南北方向残差流
	浦安沖(水深5.3m)
上層(水深1m)	-5.54 cm/s
下層(水深4m)	1.15 cm/s

・北風が吹くと、吹送によって上層では南向き、下層では北向きの流れが強化される

DOの最低値と下層DOの回復時期



- ・上層でDOが極度に低下したのは沿岸から数kmまで
- ・風による循環に乗って、南から低水温・高DOの水塊が進入し、下層DOが回復した
- ・風速6~7mでは、川崎沖から5~6日で浦安沖まで高DO水が到達し青潮が解消する

■主催

東京湾再生推進会議モニタリング分科会
 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門委員会
 東京湾岸自治体環境保全会議

■後援

一般社団法人 日本経済団体連合会

■調査内容

①環境調査

【実施期間】平成25年8月7日を実施基準日とする前後10日

【共通調査項目】 海域：溶存酸素量(DO)、水温、塩分

河川等：化学的酸素要求量(COD)、水温、流量

【推奨調査項目】 透明度

②生物調査データの収集

平成25年4月～11月に実施された生物調査を報告

③環境啓発活動等のイベント

平成25年6月～9月に実施された環境啓発活動等のイベント実施結果を報告

■調査参加機関数

①環境調査 130機関

②生物調査データの収集 13機関

③環境啓発活動等のイベント 22機関

■調査地点数・実施件数

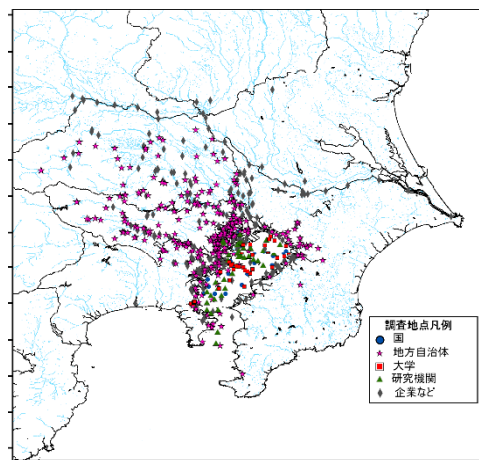
①環境調査

陸域：447地点 海域：344地点

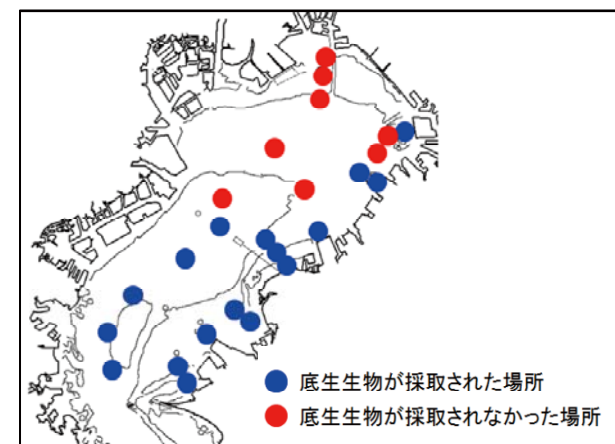
合計：791地点

②生物調査データの収集 12件

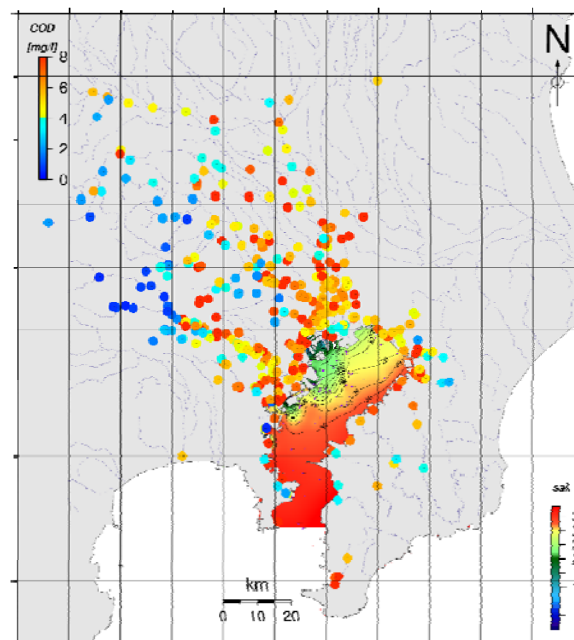
③環境啓発活動等のイベント 20件



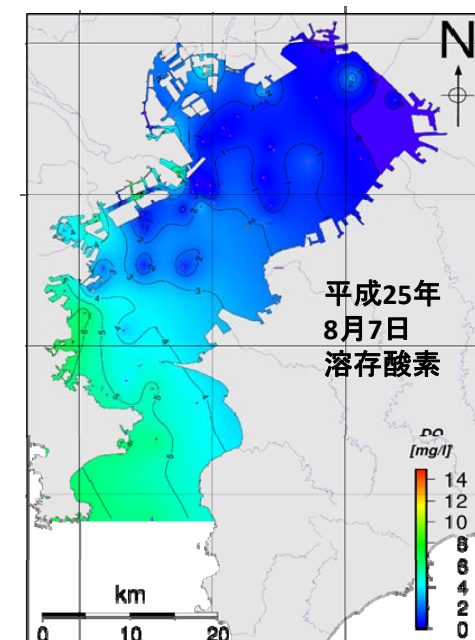
平成25年度 環境調査地点



小型底引き網による底生生物調査結果
 (千葉県水産総合研究センター、千葉県内湾底びき網研究会連合会、(独)国立環境研究所)



河川におけるCODと海域の表層塩分



平成25年8月7日の底層DO